

1. 科目名（単位数）	音楽（幼）（2 単位）	3. 科目番号	SJMP1140
2. 授業担当教員	杉原 由利子		
4. 授業形態	演習，講義，実技	5. 開講学期	春期／秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	保育の現場や小学校教育において必要とされる、音楽の基本的な演奏技能と知識を習得することを目指す。具体的には、小学校共通教材（保育現場との共通曲）を中心とした弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくりを学ぶ。		
8. 学習目標	1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や器楽アンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 基礎的な音楽理論の理解ができる。		
9. アサイメント （宿題）及びレポート課題	1. ピアノ実技：授業終了時に次週の課題を提示するので必ず譜読みと練習をして臨んで下さい。 2. 音楽理論：コードネーム学習に関して課題を提示することがあります。 3. 第6回、10回に、15回目に小テストを実施します。 4. 小テストの事前課題として演奏した映像データの提出を求めます。 5. 歌唱教材：1曲でも多くのレパートリーを持てるよう譜読みを素早く正確にできるように練習し、「歌うこと」に積極的な姿勢で臨んで下さい。 6. 15回の授業が終了した際「バイエルであれば大よそ50番台まで弾きこなせること」、「両手を使つての弾き歌いができる（右手＝旋律、左手＝コードまたは伴奏）こと」を最低限の目標と致します。 7. 音楽理論に関する領域の学修の確認のために、模擬的に教員役を担当し頂くごく短時間の「模擬授業」を実践していただきます。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 杉原由利子・赤塚太郎『新しい音楽のおさらい』共同音楽出版社 『これだけは歌って弾こう子どもの歌70』共同音楽出版社。 印刷楽譜や資料を適宜使用。 楽譜資料をきちんと管理する為にA4クリアファイルブックを用意して下さい。		
11. 成績評価の基準と 評定の方法	○成績評価の基準 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 基礎的な音楽理論を理解し、説明できるか。 ○評定の方法 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の40％ 2. 実技発表 総合点の40％ 3. 音楽理論の理解 総合点の20％		
12. 受講生への メッセージ	「ピアノが弾けるようになる」ためにはすなわち技術の習得が必須です。日々の鍛錬を忘れずに積み重ね、努力すると必ず弾けるようになります。自分を信じてひたむきに取り組んでください。気持ちよく授業を進める為または素晴らしい保育者としても絶対に必要なこととして、学生の皆様すべてにきちんとした挨拶をして頂くよう求めます。声を出し、視線を合わせて挨拶をすることを必ず行いましょう。保育・教育に携わる皆さんが音楽の楽しさ、素晴らしさを次世代に伝えていける伝達者になって欲しいと思っています。この授業では欲張ってたくさんのことに取り組みます。事前の譜読みや練習なしに授業に臨んでも、有意義な時間が過ごせません。熱心に、楽しく取り組んで下さい。授業冒頭にわらべ歌の学習を実践します。		
13. オフィスアワー	最初の授業時に提示いたします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業ガイダンス（シラバス説明・授業概要）、音楽経験・演奏レベル、音楽理論復習を兼ねるアンケート調査と回答合わせ 新しい音楽のおさらいの中の関連の内容紹介	事前学習	鍵盤でドの位置を確認し既習の基礎的な音楽に関して復習しておく。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第2回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論―①概要の解説と学習の振り返り ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第3回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論―②音階と調性の概説。 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。

第4回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論―③長音階と長調。特にこどもの歌に頻出の4つの調性に関して（ハ、ヘ、ト、ニ長調） ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。
第5回	・ピアノ実技 「これだけは歌って弾こう子どもの歌70」を用いた弾き歌い練習の導入 ・音楽理論―④短音階と短調 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第一回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	配布資料の読み返しと、提示されたピアノの課題に取り組む。当日に取り上げられた無伴奏歌唱した楽曲を演奏した音源データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第6回	第1回小テストー 指定された楽曲の歌唱（無伴奏）のテスト	事前学習	第一回目の小テストに向けた無伴奏での歌唱練習をする
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて無伴奏歌唱を復習する
第7回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑤和音の機能に関する概説。日本の子どもの歌で良く使用されるコードに関する実践的解説 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第8回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑥拍子とリズム ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえてピアノの練習に取り組む。
第9回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑥楽語に関して ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第二回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録画した映像データを、教員に添付ファイルにしてメール送信する。
第10回	第2回小テスト 弾き歌いと音楽理論のテスト	事前学習	第二回目の小テストに向け楽典を確認する。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて楽典を確認する。
第11回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑦移調と転調 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第12回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑧借用和音に関して ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	提示されたピアノの課題の譜読みと練習に取り組む。
		事後学習	当日に取り上げられた弾き歌いの楽曲を演奏したものを録音して、教員に添付ファイルにしてメール送信する。第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第13回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑨音楽理論に関する学習内容のまとめ1 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
第14回	・ピアノ実技 ・リズムエクササイズ ・コードチャートエクササイズ ・弾き歌い＝教科書に掲載された子どもの歌を弾き歌いできるよう学習する。基本的なカデンツの学習 ・音楽理論―⑩音楽理論に関する学習内容のまとめ2 ・わらべ歌の実践とソルミゼーション ・音楽理論の模擬授業（学生による）	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	次週の小テストの楽曲を無伴奏で歌唱した映像データを、教員にline 貼り付けまたは、添付ファイルにしてメール送信する。

第 1 5 回	第 3 回小テスト環境設定付きの弾き歌いテスト ※授業評価実施	事前学習	第三回目の小テストに向けた練習を軸に取り組む。
		事後学習	小テストでの反省点を踏まえて歌唱練習に取り組む。